

### (1) appreciation

I would like to express my sincere appreciation for your hard work on this project.

解説:

「感謝の意を表したい」という文脈なので、「感謝、評価」という意味の **appreciation** が適切です。

- **affliction** (苦痛、悩み) → 文脈に合わない
  - **attention** (注意、関心) → 感謝の意を表す場合には適切でない
  - **appendix** (付録、虫垂) → 全く文脈に合わない
- 

### (2) definition

If you don't know what a word means, you should look up the definition in a dictionary.

解説:

「言葉の意味がわからない場合は、辞書で**定義**を調べるべき」という文脈なので、「定義」の意味を持つ **definition** が正解です。

- **decision** (決定) → 文脈に合わない
  - **dialect** (方言) → 文脈に合わない
  - **determination** (決意、決断力) → 文脈に合わない
- 

### (3) respective

The two siblings succeeded in their respective fields.

解説:

「二人の兄弟は**それぞれの**分野で成功した」という文脈なので、「それぞれの」という意味の **respective** が適切です。

- **respected** (尊敬される) → 文法的に不適切
  - **respectful** (敬意を表する) → 文脈に合わない
  - **respecting** (〜に関する) → 文脈に合わない
- 

### (4) busy

The street was busy with pedestrians and traffic.

解説:

「その通りは歩行者や交通で**にぎわっていた**」という文脈なので、「にぎやかな、混雑した」という意味の **busy** が適切です。

- **cloudy** (曇った) → 天気に関する語なので不適切
- **heavy** (重い) → 「交通量が多い」という意味で使われることはあるが、「busy」の方が自然
- **over** (〜の上に) → 文法的に不適切

---

(5) an appointment

I would like to make an appointment to see the dentist.

解説:

「歯医者予約をしたい」という文脈なので、医者や専門職の予約に使う **appointment** が正解です。

- a **booking** (予約) → 旅行やイベントの予約に使うことが多い
- a **reservation** (予約) → ホテルやレストランの予約に使うことが多い
- a **step** (一歩、手順) → 文脈に合わない

---

(6) lies

The park lies in the center of the town.

解説:

「その公園は町の中心に**位置している**」という文脈なので、「横たわる、位置する」という意味の **lies** が適切です。

- **lays** (lay の三単現) → lay は「～を横たえる (他動詞)」なので、目的語が必要
- **rays** (光線) → 文脈に合わない
- **lives** (生きる) → 文脈に合わない

---

(7) considerate

It was considerate of you not to make noise while I was sleeping.

解説:

「私が寝ている間に音を立てないようにしてくれたのは**思いやりがあった**」という文脈なので、「思いやりのある」という意味の **considerate** が正解です。

- **coincidental** (偶然の) → 文脈に合わない
- **considerable** (かなりの) → 文脈に合わない
- **controversial** (論争を引き起こす) → 文脈に合わない

---

(8) preserve

I think we should do our best to preserve these traditional customs.

解説:

「私たちはこの伝統的な習慣を**保存すべきだ**」という文脈なので、「保存する、保護する」という意味の **preserve** が適切です。

- **pretend** (ふりをする) → 文脈に合わない
- **prolong** (延長する) → 期間を延ばす意味で使われるため不適切
- **provide** (提供する) → 文脈に合わない

(9) enable

The latest technologies enable more and more people to work from home.

解説:

「最新の技術はますます多くの人々が在宅勤務することを**可能にする**」という文脈なので、「可能にする」という意味の **enable** が適切です。

- **able** (形容詞: ~できる) → 動詞として使えない
  - **capable** (形容詞: 能力がある) → 文法的に不適切
  - **make** (~にする) → 目的語 + 形容詞の形になるので不適切
- 

(10) what

Things turned out to be different from what they seemed at first.

解説:

「物事は最初に見えたものとは異なることがわかった」という文脈なので、「~するもの、こと」を表す **what** が適切です。

- **it** → 代名詞なので不適切
  - **that** → 文法的に不適切
  - **which** → 関係代名詞として使う場合、先行詞が必要
- 

(11) could not have visited

He has been sick in bed for a week, so he could not have visited the department store yesterday.

解説:

「彼は1週間病気で寝ていたので、**昨日デパートに行ったはずがない**」という文脈なので、過去の不可能を表す **could not have visited** が適切です。

- **cannot visit** (現在の不可能) → 昨日について述べているので不適切
  - **should visit** (訪れるべき) → 文脈に合わない
  - **should have visited** (訪れるべきだった) → 逆の意味になる
- 

(12) to open

My brother was upset that he was made to open his suitcase at the airport.

解説:

「兄は空港でスーツケースを開けさせられて怒っていた」という文脈なので、「make + 人 + **to** 不定詞 (受動態)」の形を取る **to open** が適切です。

- **open** → make + 人 + 動詞の原形 (能動態) なら正しいが、受動態では不適切
  - **opened** → 文法的に不適切
  - **opening** → 動名詞は不要
-

(13) repairing

When I came home, my father was busy repairing his old bike.

解説:

「私が帰宅したとき、父は古い自転車を修理するのに忙しかった」という文脈なので、「be busy 動名詞」の形を取る **repairing** が適切です。

- **repair** → 動詞の原形は使えない
  - **repaired** → 過去分詞は不適切
  - **to repair** → 不定詞は使わない
- 

(14) such a wonderful movie

It was such a wonderful movie that I saw it three times.

解説:

「それはとても素晴らしい映画だったので、私は3回観た」という文脈なので、「such + a/an + 形容詞 + 名詞」の形を取る **such a wonderful movie** が適切です。

- **so a movie wonderful** → 語順が間違い
  - **so a wonderful movie** → 「so」は形容詞を修飾するが、この語順は誤り
  - **such a movie wonderful** → 語順が間違い
- 

(15) of

These skills are of no use unless they are applied to real life.

解説:

「これらのスキルは実生活に適用されなければ役に立たない」という文脈なので、「be of use (役に立つ)」という表現を使う **of** が適切です。

- **in no use** → 文法的に誤り
  - **for no use** → 文法的に誤り
  - **with no use** → 文法的に誤り
- 

(16) who

He is the actor who I think will be popular in the future.

解説:

「彼は将来人気になると思う俳優だ」という文脈なので、「～する人」を表す関係代名詞 **who** が適切です。

- **what** → 関係代名詞として使うと文法的に不適切
- **whom** → 目的格だが、この文では主格が必要
- **whose** → 所有格なので不適切

(17) taking care

John's parents punished him for not taking care of his young brother.

解説:

「ジョンの両親は彼が弟の世話をしなかったことで罰した」という文脈なので、「世話をする」という意味の **taking care of** が適切です。

- **going out** (外出する) → 文脈に合わない
  - **putting off** (延期する) → 文脈に合わない
  - **running out** (使い果たす) → 文脈に合わない
- 

(18) into practice

Your idea sounds interesting, but I'm afraid it's difficult to put it into practice.

解説:

「あなたのアイデアは面白そうですが、**実行に移す**のは難しいと思います」という文脈なので、「実行に移す」という意味の **put into practice** が適切です。

- **by accident** (偶然に) → 文脈に合わない
  - **in short** (要するに) → 文脈に合わない
  - **on purpose** (わざと) → 文脈に合わない
- 

(19) turn in

If you fail to turn in the homework assignment, you will receive a zero for that homework.

解説:

「宿題を**提出**しなければ、0点になります」という文脈なので、「提出する」という意味の **turn in** が適切です。

- **give out** (配る) → 文脈に合わない
  - **hand out** (配る) → 文脈に合わない
  - **sign in** (サインインする) → 文脈に合わない
- 

(20) call for

Global leaders should call for urgent action on global warming.

解説:

「世界のリーダーは地球温暖化に対する緊急の対策を**求めるべきだ**」という文脈なので、「要求する、呼びかける」という意味の **call for** が適切です。

- **call out** (大声で呼ぶ) → 文脈に合わない
  - **name after** (～にちなんで名付ける) → 文脈に合わない
  - **work in** (組み込む) → 文脈に合わない
-

(21) on behalf of

Cathy gave a speech on behalf of the graduates.

解説:

「キャシーは卒業生を代表してスピーチをした」という文脈なので、「～を代表して」という意味の **on behalf of** が適切です。

- **as far as** (～の限り) → 文脈に合わない
  - **by way of** (～を経由して) → 文脈に合わない
  - **in terms of** (～の観点で) → 文脈に合わない
- 

(22) got off

Passengers got off the plane at around 6:30 p.m.

解説:

「乗客は午後 6 時 30 分頃に飛行機を降りた」という文脈なので、「降りる」という意味の **got off** が適切です。

- **brought up** (育てる、持ち出す) → 文脈に合わない
  - **made of** (～でできている) → 文脈に合わない
  - **took off** (離陸する) → 逆の意味
- 

(23) Contrary to

Contrary to popular belief, sign language is not too difficult to learn.

解説:

「一般的な考えとは反対に、手話を学ぶのはそれほど難しくない」という文脈なので、「～に反して」という意味の **Contrary to** が適切です。

- **Along with** (～と一緒に) → 文脈に合わない
  - **For fear of** (～を恐れて) → 文脈に合わない
  - **In honor of** (～に敬意を表して) → 文脈に合わない
- 

(24) similar to

The basic design of this car is very similar to earlier models.

解説:

「この車の基本設計は以前のモデルと非常に似ている」という文脈なので、「～に似ている」という意味の **similar to** が適切です。

- **anxious about** (～を心配している) → 文脈に合わない
- **familiar with** (～に慣れている) → 文脈に合わない
- **likely to** (～しそうな) → 文脈に合わない

(1) But my interest has changed a little bit.

A: I've decided to major in medicine at university. How about you?

B: Well, I was thinking of majoring in mathematics. But my interest has changed a little bit.

A: Why is that?

B: I'd like to major in economics and analyze the economy using math.

解説:

- Bはもともと数学を専攻しようと思っていたが、「経済学を専攻し、数学を使って経済を分析したい」と考えが変わったことを述べている。
  - \*\*「興味が少し変わった」\*\*という意味の "But my interest has changed a little bit." が適切。
  - 他の選択肢:
    - But I no longer want to go to university. (もう大学に行きたくない) → Bは依然として大学進学を考えているので不適切。
    - But I'm thinking of majoring in medicine, too. (私も医学を専攻しようと思っている) → その後の経済学の話と矛盾する。
    - But it has never changed at all. (まったく変わっていない) → その後の発言と矛盾する。
- 

(2) There's nothing we can do for you.

A: Excuse me. I'm taking the 8 p.m. flight to New York.

B: I'm afraid that check-in has already closed, so you can't take that flight.

A: But I need to be there early tomorrow for an important meeting!

B: The flight you missed was the last one today. There's nothing we can do for you.

解説:

- Bは「今日の最後の便を逃してしまった」と言っているので、「できることは何もありません」という意味の "There's nothing we can do for you." が適切。
- 他の選択肢:
  - There's a wide variety of in-flight entertainment. (機内エンターテインメントの種類は豊富です。) → 会話の流れと関係がない。
  - We apologize for the delay of our departure. (出発の遅れをお詫びします。) → 遅延の話は出ていない。
  - We're supposed to get there on time. (私たちは時間通りに到着するはずで) → 話の流れと合わない。

(3) The parking is limited.

A: Could you give me some information on this hotel?

B: Certainly. It's new and nice, but a little bit far from the station.

A: So, I guess quite a few people come by car. Is there a big parking lot?

B: I'm afraid not. The parking is limited.

解説:

- A は「かなり多くの人が車で来るのでは？」と予想し、駐車場の大きいかどうか尋ねている。
  - B の「I'm afraid not. (残念ながら違います)」に続くのは、「駐車場は限られている」という意味の "The parking is limited." が適切。
  - 他の選択肢:
    - The hotel has a variety of rooms. (ホテルには様々な部屋があります。) → 駐車場の話とは無関係。
    - There's plenty of space. (十分なスペースがあります。) → 「駐車場が限られている」と言っているので矛盾する。
    - You can't go there by train. (そこには電車で行けません。) → 「駅から遠い」とは言っているが、「電車で行けない」とは言っていない。
- 

(4) You're difficult to please when it comes to eating.

A: How do you like this restaurant?

B: I like the atmosphere, but the pasta was too soft.

A: I didn't think it was that bad. You're difficult to please when it comes to eating.

解説:

- B は雰囲気は良いが、パスタの柔らかさが気に入らなかったと批評している。
- A は「それほど悪くないと思った」と反論し、B の「食べ物に関しては満足しにくい性格」だと指摘している。
- 他の選択肢:
  - I agree with you in that the atmosphere was bad. (雰囲気が悪かったという点では同意する。) → B は雰囲気は良いと言っているので矛盾する。
  - I think you like everything you eat. (あなたは何でも気に入ると思う。) → B は文句を言っているなので、これは矛盾する。
  - You always praise whatever I choose. (あなたはいつも私が選んだものを褒める。) → B は料理を批判しているので不適切。

(5) Does it hurt only when you eat something cold?

A: What seems to be the trouble?

B: I have a toothache. It's especially bad when I eat something cold.

A: Does it hurt only when you eat something cold?

B: No, I don't think so. Only when I eat something like ice cream.

解説:

- Bは「冷たいものを食べると特に痛む」と言っている。
- Aが確認する形で "Does it hurt only when you eat something cold?" (冷たいものを食べる時だけ痛みますか?) と尋ねるのが自然。
- 他の選択肢:
  - Does it hurt when you eat something hot? (熱いものを食べると痛みますか?) → Bは冷たいものを食べたときの痛みについて話しているので、話の流れと合わない。
  - Have you ever had dental treatment on this tooth? (この歯の治療を受けたことがありますか?) → まだ治療の話は出ていないので、不自然。
  - Have you visited this dental office before? (この歯科医院に来たことがありますか?) → Bの症状とは無関係な質問。

---

(6) I know two but the one closest to here is usually crowded.

A: Oh, what a beautiful day! How about taking a walk in the park?

B: Sounds good! Do you know any good parks nearby?

A: I know two but the one closest to here is usually crowded.

B: So, finding a bench to sit on may be hard. Let's go to the other one.

解説:

- Bは「近くに良い公園を知っているか」と聞いている。
- Aは「2つ知っているが、一番近い公園は混んでいる」と答えているため、Bの「ベンチを見つけるのが難しいかもね」という発言と自然につながる。
- 他の選択肢:
  - I don't know anything about this neighborhood. (この近所のことは何も知らない。) → Aは公園について知っているので矛盾する。
  - I know some and there are very few people in all of them. (いくつか知っていて、どこも人が少ない。) → Bの「ベンチを見つけるのが難しいかも」という発言と矛盾する。
  - I think it's better for us to go to the nearest one on foot. (一番近い公園に歩いて行くのがいいと思う。) → 近い公園は混んでいるという話が続くので、この選択肢は適切ではない。

(1) 答え:

✔ **Because he had to modify the contents based on the new developments in AI.**

(彼は AI の新しい発展に基づいて内容を修正しなければならなかったから。)

解説:

本文には「AI は非常に急速に変化しているため、このエッセイのすべての草稿を新しい進展に応じて修正しなければならなかった」と書かれています。このことから、AI の進歩に合わせて内容を更新する必要があったことが分かります。

---

(2) 答え:

✔ **It enables us not to be bothered by the emails we don't need.**

(私たちが不要なメールに悩まされないようにしてくれる。)

解説:

本文には「AI はスパムメールを受信箱から除外する」と書かれています。これにより、不要なメールが届かないようになり、私たちの生活が便利になるという点で正しい選択肢です。

---

(3) 答え:

✔ **They are programmed to accomplish simple tasks.**

(AI は単純なタスクを達成するようにプログラムされている。)

解説:

本文では「AI は最高のチェスプレイヤーを簡単に打ち負かすことができるが、それらのプログラムは会話をすることはできない」と述べられています。つまり、現在の AI は特定のタスクを実行するために設計されており、まだ「汎用人工知能 (AGI)」のような人間と同じ知能を持つものではないことが示されています。

---

(4) 答え:

✔ **It is something that acts independently to achieve its goals.**

(それは自律的に行動し、目標を達成しようとするもの。)

解説:

本文には「知的エージェントとは、世界を認識し、それに基づいて自律的に行動し、特定の目標を達成しようとするもの」と説明されています。つまり、知的エージェントは人間の手助けを必要とせず、自ら目標に向かって行動するものという点で、この選択肢が正解です。

---

(5) 答え:

✔ **The writer seems to have written part of this article with the aid of AI.**

(筆者はこの記事の一部を AI の助けを借りて書いたようだ。)

### 解説:

本文には「この文章の最後の部分は私が書いたのではなく、AI ライティングプログラムに提案してもらった」と書かれています。つまり、筆者はAIを活用して文章を執筆したことが分かるため、この選択肢が正しいです。

### 誤りのある選択肢:

- **AI is used to help us lock our phones.** (AIはスマートフォンをロックするのに使われる。)  
→ 本文では「AIは顔認証でスマートフォンのロックを解除するのに使われる」と書かれており、正しくは「ロックを解除する」のがAIの役割。
- **AI is a tool that only writers can take advantage of.** (AIは作家だけが利用できるツールである。)  
→ AIは作家だけでなく、銀行、医療、警察などさまざまな分野で利用されていると述べられている。
- **The development of AI is expected to slow down in the near future.** (AIの発展は近い将来、減速すると予想されている。)  
→ 本文では「AIは急速に発展している」と述べられており、今後も進化が続くと示唆されているため、この選択肢は誤り。